

ニュージーランド、ホークス・ベイ  
 設立：1993年  
 醸造家：ウォーレン・ギブソン（写真）  
 ダミアン・フィッシャー  
 自社畑：42ha  
 年間総生産量：55,000ダース



Hawks Bay, New Zealand  
 Est. 1993  
 Winemaker: Warren Gibson/Damian Fischer  
 Estate Vineyards: 42ha  
 Annual Production: 55,000 dozen  
<https://www.trinityhill.com/>

## トリニティ・ヒルの始まり

トリニティ・ヒルは、元モートン・エステートの醸造家ジョン・ハンコックが1987年ロンドンでレストランを営むロバート&ロビン・ウィルソン夫妻と出会ったのを機に、オークランドの株主仲間であったモートン・エステート初期の株主ジェインズ夫妻らと1993年に設立されました。

「トリニティ・ヒル」の名は、この3組のパートナーがロイズ・ヒルの麓にワイナリーを興したことに由来します。また、ワイナリーを囲む3つの丘という意味もあります。

## ギムレット・グラヴェルズ地区の先駆者

ギムレット・グラヴェルズは、ホークス・ベイ中北部を東西に流れるナルロ川右岸に位置し、かつてナルロ川底であった800haの地に深さ100mにも及ぶ砂利を含む厚い沖積土が広がります。政府認定呼称産地としては認定されていませんが、砂利質土壌による特有の凝縮した風味をもつブドウが実ることからワインラベルには「ギムレット・グラヴェルズ」と表記されています（使用ブドウ95%以上が条件）。

ギムレット・グラヴェルズ地区のポテンシャルの高さを早くに見出したのがトリニティ・ヒルのジョン・ハンコックで、1993年、最初にブドウを植え始めました。その後、トリニティ・ヒルに続いて多くの生産者が同地区に畑を持ち、現在22社のワイナリーがギムレット・グラヴェルズからワインをリリースしています。ギムレット・グラヴェルズは、骨格のしっかりとしたボルドー赤品種とシラーの生産で定評があり、ニュージーランドにおける重要な産地と位置づけられています。

## 醸造家ウォーレン・ギブソン

醸造家ウォーレン・ギブソンは、オークランドのマージー大学と南オーストラリア、ローズウォーシー大学で栽培・醸造を学び、西オーストラリア州マーガレット・リヴァー、イタリア、ハンガリー、フランス、

カリフォルニアで研鑽した後、1997年にトリニティ・ヒルに加わりました。当初、ジョン・ハンコックのアシスタントとして従事していましたが、数年のヴィンテージを手がけ現在は醸造責任者としてトリニティ・ヒルのワイン造りを担っています。ギブソンは現在ニュージーランドを代表する醸造家の一人として知られ、2005年ワインステイト・マガジンで「ニュージーランド・ワインメーカー・オブ・ザ・イヤー」に輝きました。

## シラーのクローン

自社畑（約42ha）の約17haに植えられているシラーはトリニティ・ヒルの主要品種です。およそ10-12種類のクローンを育てており、なかでも1830年代にスコットランド人ジェームズ・バズビーがNZに持ち込んだとされる仏エルミタージュ由来のマサル・セレクション・クローンと、1996年と同じく仏エルミタージュのポール・ジャブレ・エネから譲り受けたクローン174はトリニティ・ヒルのシラー種の要となっています。

## 受賞・評価等

・2024年5月20日、ロンドン・ワインフェア 2024 内で開催された、スティーヴン・スパリュア氏追悼イベント「ロンドンの審判（Judgement of London）」で「ヨーロッパワイン対その他世界」のワイン白赤各8部門、16組、合計32アイテムの1つにオマー・ジュ・シラー2018が選出。赤の最高得点だったジャン・ルイ・シャープ・エルミタージュ・ルー・ジュ2012とペアで試飲され、審査員の一人ジャン・シス・ロビンソンMWは、双方に20点満点中18.5の同じ点数をつけたことを公表。

・英国インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）2022で「ギムレット・グラヴェルズ シャルドネ2020」が「IWC チャンピオン・ホワイト・ワイン2022」に選出（NZ白史上2アイテム目。IWCサステナビリティロフィーも同時受賞）。

## ■トリニティ・ヒル醸造家インタビュー

「ヴィレッジ・セラーズ・ワインカタログ」

2021夏 掲載記事

<http://bit.ly/3AVLVLI>



Code	商品名	年号	種類	希望小売価格
12790	Hawkes Bay Sauvignon Blanc	2023	白	¥3,400
12982	Hawkes Bay Chardonnay	2022	白	¥3,500
12416	Hawkes Bay Syrah	2021	赤	¥4,000
12789	Gimblett Gravels Chardonnay	2022	白	¥5,800
12691	Gimblett Gravels the Gimblett	2021	赤	¥5,600
12689	Gimblett Gravels Syrah	2021	赤	¥5,600
12690	Gimblett Gravels Tempranillo	2021	赤	¥5,800
12791	Homage Syrah	2020	赤	¥18,500

Recommended Retail Prices do NOT include Consumption Tax. Vol. is 750ml unless otherwise specified.  
 希望小売価格は税別表示です。容量は、明記されていないものは750ml。

(2024年10月)



### ホークスベイ・ソーヴィニヨン・ブラン

Hawkes Bay Sauvignon Blanc

ライム、シトラス、レモングラスの香りがストーンフルーツの独特の風味を引き立て、フレッシュな酸味に僅かな甘みを感じられる。ステンレス槽で低温発酵し、わずかな残糖を残して早めに瓶詰め。風味豊かで丸みのあるストラクチャーはクラシックなホークス・ベイ・スタイル。



### ホークスベイ・シャルドネ

Hawkes Bay Chardonnay

柑橘、白い花、ストーンフルーツ、ヘーゼルナッツのアロマにアーモンドと火打石のニュアンスが混じる。全房圧搾後、ステンレスタンクと500Lフレンチオーク樽を組み合わせて発酵。MLFは最小限。ステンレス槽と500Lフレンチオーク樽で澱とともに6ヶ月間熟成。



### ホークスベイ・シラー

Hawkes Bay Syrah

ブラック・ベリーの実にスパイス、黒コショウの風味、しなやかな酸が骨格となり、長くフローラルな余韻へ。ギムレット・グラヴェルズの3つの区画の自社ブドウから造られ、果実本来の風味を生かすため熟成はフレンチオーク旧樽で短めに行う。



### ギムレット・グラヴェルズ・シャルドネ

Gimblett Gravels Chardonnay

栽培面積の90%が黒ブドウというギムレット・グラヴェルズの数少ないシャルドネ。柑橘や白い花のアロマ続いて、ナッツや火打石、樽のニュアンスが優雅に層をなす。手摘みブドウを優しくプレスし、大部分を500Lのフレンチオーク・パンションで、一部は228Lのバリックで自然発酵。MLFあり。濾過は最小限、無清澄。フレンチオーク樽で11ヶ月間熟成（新樽率37%）後、タンクで4ヶ月間熟成。



### ギムレット・グラヴェルズ・ザ・ギムレット

Gimblett Gravels The Gimblett

カベルネ・フラン50%/カベルネ・ソーヴィニヨン46%/プティヴェルド4%のボルドーブレンド。力強く、凝縮した黒い果実とハーブの香りで、しっかりとしたストラクチャーがある。ギムレット・グラヴェルズ地区の2つの畑のブドウを手摘み後、ロットごとに仕込み。フレンチオーク樽で18ヶ月間熟成（新樽38%）。



### ギムレット・グラヴェルズ・シラー

Gimblett Gravels Syrah

深い紅赤色で、野生のラズベリー、ブラックベリーの果実に黒胡椒とスパイス香りが縁取り、何層もの複雑な風味が層をなしている。ギムレット・グラヴェルズの自社畑4つの区画のブドウを別々に醸造。マセラシオンの期間をそれぞれ変えることで複雑な質感を引き出す。5,400Lのフレンチオーク大樽で12~15ヶ月熟成。



### ギムレット・グラヴェルズ・テンプラニーリョ

Gimblett Gravels Tempranillo

テンプラニーリョ93%/トウリガ・フランカ7%。赤と黒の果実の風味が鮮やかに口中に広がり、ココアパウダーのような緻密な粘性あるタンニンに快活な酸味が合わさり、しなやかな心地良い余韻へ。フレンチオーク樽とアメリカンオーク旧樽で12ヶ月間熟成。



### オマーージュ・シラー

Homage Syrah

純粹な黒い果実に甘草やスパイス、杉の風味が溶け込み、洗練された質感、深みのある果実、フィネスが一体となって優雅な長い余韻に導く。

手摘みブドウの多くは破碎せず全粒のままブロックごとに開放式発酵槽で発酵無清澄、フィルターは最小限。18-21ヶ月間フレンチオーク樽で熟成後ブレンド。熟成は大小取り混ぜた樽を用いて、区画毎の特色を引き出す。6割：228L（新樽率68%）、4割：5,400L旧樽。

トリニティ・ヒルは1997年頃、仏エルミターージュのジェラルド・ジャブレから当時のニュージーランドでは入手不可能だったクローンを譲り受けて栽培。この最上位シラーには、彼へのオマーージュが込められている。

\*年号や価格は予告なく変更することがございます。

\*各ワインの詳しい資料は弊社ホームページ上の生産者ワイン詳細をご参照下さい。

(2024年10月)

ヴィレッジ・セラーズ株式会社